

—スタッフ—

役 職	スタッフ名
技術科長	河野 栄治
統括主査	中西 潤
技術主査	中谷 暁洋
学術主査	岩本 匡史
主査	為廣 理沙子
	町田 麻実
	大埜 将信
	小谷 哲也
	吉田 光海
	佐々木 啓人
	田村 瑞紀
	坂井 豪心

—概要—

2013年度は隣接する大阪府泉州救命救急センターの移管統合に伴い、業務が拡充した一年であった。それに伴い、「臨床工学室」から「臨床工学科」と名称を変更、また、荻脇栄治臨床工学室室長の退職に伴い、河野栄治が技術科長に就任した。大阪府泉州救命救急センターからは、中西潤・為廣理沙子を迎え、また新職員として田村瑞紀・坂井豪心の2名を迎え入れることとなった。科内の人事変更、スタッフが12名と過去最大の人数となるなど例年になく大きく動いた。

今年度は「病院機能評価」の受審もあり、科内の業務体制及び内容を見直すには良い機会であった。

組織構造として経験10年以上のスタッフ7名と経験5年未満のスタッフ5名という、中堅層が薄いこともあり、「臨床工学業務体制の構築と要求に答える力量の獲得」を業務指針とした。

また、今年度は新たにEVAR (Endovascular aneurysm repair) TEVAR (Thoracic endovascular aortic repair) が業務として増加した年でもあった。

臨床工学科は12名のスタッフで循環・呼吸・代謝・機器管理の業務を行った。

《得認定資格》

体外循環技術認定士

3学会合同呼吸療法認定士

不整脈治療専門工学技士

CDR (PM/ICD関連情報担当者) 認定

透析技術認定士

アフエレーシス技術認定士

臨床ME 専門認定士

—実績—

《血液浄化関連業務 (救命救急センター含む)》

血液浄化センター血液透析施行回数	2, 137件
ICU/CCU血液浄化件数(持続血液器濾過透析含む)	824件
特殊血液浄化 (血漿交換・血液吸着療法など)	13件
LDL吸着療法	10件
エンドトキシン吸着療法	18件
腹水濃縮再静注法	3件

《体外循環関連業務 (救命救急センター含む)》

全体外循環症例	66症例 (うち緊急症例 17症例)
通常体外循環法	47症例
脳分離体外循環法	6症例
超低体温循環停止法	8症例
Off pump CABG	5症例
EVAR (Endovascular aneurysm repair)	29症例
TEVAR (Thoracic endovascular aortic repair)	10症例
自己血回収業務 (体外循環業務に付随するものを除く)	17例

《補助循環関連》

経皮的心肺補助症例	24症例
大動脈バルーンパンピング症例	67症例

《心臓カテーテル検査関連》

循環器カテーテル検査	1, 135症例
冠動脈造影	974症例
経皮的冠動脈形成術	440症例
緊急カテ症例	185症例
EPS (Electrophysiological study)	14例

心臓埋め込みデバイス関連

全埋め込み術症例	57症例
ペースメーカー埋め込み術	30症例
ペースメーカー本体交換術	15症例
埋め込み型除細動器埋め込み術	3症例
埋め込み型除細動器交換術	1症例
両心室ペースメーカー埋め込み術	1症例
両室ペースメーカー機能付き埋め込み型除細動器埋め込み術	3症例
両室ペースメーカー機能付き埋め込み型除細動器交換術	4症例
ペースメーカー等デバイスチェック(術中・術後・外来)	748回

《人工呼吸器・麻酔器関連業務》

内ラウンド回数	137回
R C T (Respiratory Care Team) 関連	
患者依頼件数	17件
人工呼吸器離脱件数	10件
S A S (sleep apnea syndrome) 関連	
簡易 P S G (Poly somnography) 検査	103件
終夜経皮的動脈血酸素飽和度測定	6件
フル P S G 検査	1件
C P A P (Continuous positive airway pressure) 導入	17件
A S V (Adaptive Support Ventilation) 導入	4件
H O T (Home Oxygen Therapy) 導入	6件

《呼吸関連勉強会》

R C T 主催の勉強会	4回
呼吸ケアエキスパートコース	1回
各病棟での勉強会	4回
人工呼吸器関連の勉強会実施	合計9回

《機器管理業務》

新規購入物品として登録された機器は	237件
修理依頼件数及び点検件数	1,081件
CE機器(輸液・シリンジポンプ、モニター)貸出件数	1,249件